

強者の戦略

第3回 南

～サークル活動～

前回、何を考えていたのかわかりませんが、サークル活動の話をしなすとってしまいました。言って後悔ですね。だって私はサークル活動というものをほとんどしていないのです。上下関係とかがめっぼう苦手で、そんな苦しい思いをしてまでサークル活動をしようとは思わなかったのです。なので、友人が入っていたサークルなどを浅く紹介する感じになりますけどご容赦を。

基本的にサークル活動とは、大学生によって運営されているスポーツや文化活動を専門的に行う活動で、大学の講義の後や土日などに行われるものの総称です。そして活動の後にはみんなで晩ご飯を食べたり、土日にはバーベキューなどが実施されたりする、いかにも“大学生らしい楽しさ”を満喫することができます。

私の時代は、構内の掲示板の張り紙や黒板の端っこに書かれてあるサークル名・説明会開催教室・説明会開催時間を見て、興味のあるサークルの説明を受けに行くことからスタートします。昼休みに行けば、たいがい昼ご飯をご馳走してもらいながら説明を受けることになります。どのサークルも最初のご飯はおごりになるので、説明会ばかり行きまくって、昼ご飯代を浮かそうとする友人も出る次第です(笑)。逆にサークルの先輩も、新入生がやってくる春は、何とか自分のサークルに入ってもらおうと目の色変えて勧誘してきます。きっとそのシャワーを二次試験の日に体験できることになるでしょう。受かるかどうか分かっていない試験の日に、「合格したら私達のサークルに入ってください！」と言われることになり困惑します。今年はラクロス部の勧誘が激しかった気がしますね。私が受験したときはアメフト部に狙われて、帰り道 100m ぐらい付き添われながら勧誘されました。痩せていることを理由に断ろうとしても無理ですよ。きっと「人間は太る生き物だ！」と訴えられます。でも無理なものは無理です。だって私は身長 179cm、体重 58kg のモデル体型をずっと維持していますから(笑)。

私はサークル活動なんて性に合わないとうすうす感じながら、でも、周りの流れに乗り遅れたくない衝動で、健康診断で知り合った同じ文学部(L2)のMさんとグリー部の説明会に行きました。あらかじめ言っておきますけど、私は近畿圏で5本の指に入るぐらいの音痴なのです(泣)。高校のときの音楽の成績は、90人中ワースト7人に入るほどです。こんな私がグリー部なんかにはまったく興味はないですから、何となくみんながやっていた、“サークルに行っでご飯をおごってもらえる行動”を取りたかっただけなのです(ほんと、グリー部の人たち申し訳ありません)。引き連れられて行った場所はかの有名な“オムラハウス”です。各種各様のオムライスがメニューにテンコ盛りです。ぜひ合格したら行ってくださいね。そして、入る気がない素振り押し隠しつつ、軽妙なトークでサークル先輩と盛り上がり、見事、ご飯をおごってもらうことに成功！いやいや、わけの分からない達成感を感じました。でもこの昼ごはんは新たな文学部友人を発見いたします。その人はKくん(L4)としておきますが、彼も入る気がなく、存在していた人でした。ここで、L1の南、L2のMくん、L4のKくんという、クラスを超えた友人関係を構築することができました。この関係を築けただけでもグリー部に行った甲斐があったというものです。ありがとう、グリー部。



出町柳駅付近のオムラハウス

私はこの1回限りで冷やかし昼ご飯ゲット作戦を終了いたします。あとは入る可能性のあるサークルにしか足を踏み入れませんでした。テニスサークル

強者の戦略

で1回練習に行ったのは“アップル”というところでした。しかし、2時間の練習中でボールを打てたのは数回だけと、不満だけが残ったので入るに至りませんでした。また、友人が入っていた“TCT”にも1回練習に行きましたが、友人が多かったので、入る意味を見いだせず、ここもスルーです。次に行ったのが“医学部茶道部”です。「えっ、医学部生じゃないでしょ!？」と思われました?いえいえ大丈夫なんですよ。“医学部茶道部”には他の学部の人も結構いました。現役のときに受かった友人(合格発表の掲示板を私よりも先に見て、電話で合格を伝えた友人です)が入っていて誘ってくれたので行きました。ここは結構居心地がよかったです。毎週金曜日の夕方18:00ぐらいから、医学部付近の建物の2階位の部屋でお茶を立てる生活が始まります。袱紗裁きとかを習って、とても新鮮でした。医学部や理学部などの友人もできて非常に有意義でした。でも、ある時、誰かも分からない先輩に、「南くんは来てキンツバばかり食べてるわね。一人一個なのよ」と心ない一言を浴びせられ、その回を最後に“医学部茶道部”の活動に終止符を打ちます。約3カ月の活動でした。キンツバの食べすぎにはくれぐれも注意してくださいね。人生狂いますよ。

ところで、健康診断で知り合ったMさんとグリーン部で知り合ったKくんは、実は演劇をやりたい願望を持っていました。当時は、“劇団その一”“劇団ケツペキ”“ミュージカル劇団とっても便利”などがあって、新入生歓迎劇を無料で見ることができました。今もやっているんじゃないですかね。その“劇団その一”にMくんがちゃんと入ることになりました。それ以降、“劇団その一”の公演をかなりの回数見に行くことになりました。かなり面白かったし、何より、友人の本気で活動している姿を見ることはすがすがしいことでした。劇団員の人は、授業が終わったら野球場の横ぐらいで毎日「あ・え・い・う・え・お・あ・お」「あめんぼあかいなあいうえお」などと発声練習をしていて、Mくんもめっちゃやってまし

た。何か大学生らしい活動をスタートさせているのを見てかなりうらやましかったです。一方のKくんはバスケットボールサークルに通いつつ、社交ダンスサークルにも入ってました。しょっちゅう社交ダンスに誘われましたが、見に行くことはありませんでしたね。Kくん、申し訳ない。

あと、周りの人でどんな活動をしていたかを思い出してみると、“舞踏研究会”とかありました。しょっちゅう目の前でクルクル回転している友人がいました。“リコーダー愛好会”に入った友人は、リコーダーを吹く話はしますが実際に吹いているのを見たことはありませんでした。今でも本当に活動していたか疑っています。“観世会”という能サークルに入った友人は、酔った勢いで能を演じ始めましたが、誰にも見向きされませんでした。“散策の会”に入った友人は登山ばかりしていて学校で見かけることは稀でした。この人は酔った勢いで書きためていた自作の詩を読み始めましたが、誰の心にも届きませんでした。“マンドリンオーケストラ”“京大オーケストラ(京都大学音楽部交響楽団)”といった音楽系に入った人もいました。私が1年生のときに、吉田寮が燃えた時があって、オーケストラの練習場が横だったので、フルートが燃えて灰になった人もいました。朝から友人に「フルート燃えてなくなってる!」と言われて何のことか正直分からなかったのですが、吉田寮を見に行くのと納得できました。焼け野原でした。

そして他の人たちは…と考えようとしたのですが、もう思い出せません。つというか、周りの人たちがサークルやらなさすぎだったと思います。私と、そして私の周りの友人達は、ずーっと食堂にいてしゃべるだけでした。昼休みは吉田食堂でまったりしすぎて3限目の授業を休んでしまったり、5限目の授業が終わればルネ(学食)に行って晩ご飯を食べ、えんえん意味のない話で盛り上がり、帰り間際にパフェを食べて、21:00の閉館とともに帰るみたいな生活を送っていました。たまに人が集まれば加茂川河

強者の戦略

川敷でサッカーをしたり、北白川バッティングセンターで卓球、ビリヤードなどで遊んだりしました。サークルに入っていなくても十分楽しい生活でした。でも、サークルに入っていないと、2年生になってきて学校にみんなが来なくなってくると、この“ルネの会”みたいなものもなくなります。やはり何かのサークルには入っておくべきだと思います。



学食 ルネ

最後にルネの思い出を語っておきます。あるとき、授業が終わってすばやくルネに辿り着いたときがありました。まだ友人は誰も来ていませんでした。そんな暇を弄もてあそんで、座っている椅子の後ろに重心をとって支えながら、前の部分を浮かせて遊ぶという、小学校4年生ぐらいまで流行っていた営みを久しぶりにやっていました。そしたら鈍くさいことにこけてしまって、さらに運の悪いことに後ろに消化器があったのです。ぶつかった衝撃で、「ぷしゅ〜」というロマンティックな音と共に、白い粉が辺り一面に広がって行ってしまいました。その瞬間から周りの学生達が私にこれでもかと言わんばかりの白い目をなげかけながら、各々トレイを持ちつつ遠くへ移動していくシーンが演出されました。あのときのことは一生忘れないと思います。ひとしきり白い粉の噴出が止まり、時が止まったように呆然としていた私は、気を取り直してとりあえず職員の人に申し出て、職員の人に来てもらい、掃除してもらいました。そ

のときも用具がないので手伝うこともできないながら、その場を離れるのも道義的に悪いかと考え、ずっと見つめるのみでした。掃除が終わると、もうその場にいることが恥ずかしすぎて、そそくさと帰ることにしました。だから、私にとってのメモリアルスポットがルネです。ぜひ合格して何度も食べに行ってください。ちなみに消化器を噴出させた席は、一番奥の窓際の席です。もう消化器が置いてなかったら、原因は私かもしれません(笑)。